

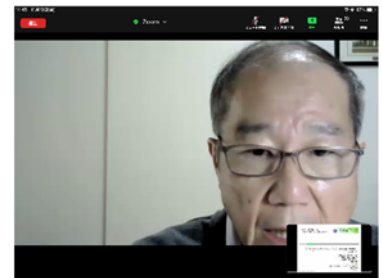
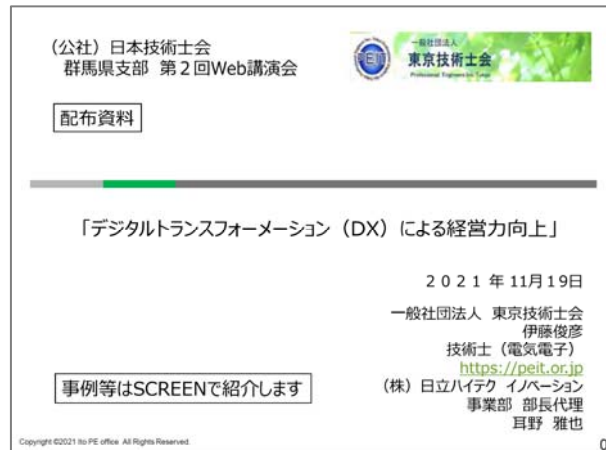
「群馬県支部会報」

発行
令和3年12月17日
公益社団法人 日本技術士会
群馬支部 広報委員会

概要報告

第2回Web講演会

「DXによる企業経営力向上」



伊藤 俊彦 様

伊藤技術士事務所代表、技術士(電気電子)

東京技術士会 理事・副会長、横浜国立大学非常勤講師

東京技術士会 IoT グループでは、中小企業経営における課題を把握し、その改善策を提案しているとのこと。ご講演では、国際的な情勢を踏まえて最新技術を取り入れ、実効的な提案や取り組みを行っている雰囲気が伝わってきました。

また、株式会社日立ハイテク 耳野氏にもご講演をいただきました。内容は、伊藤氏の内容を受け、「利益を生む経営」「低価格」といった視点から、「日本からリモートで海外工場オペレーションを日本品質にする方法」を示していただきました。

御両名とも、具体的な内容を示していただいたので、技術者にとって大変有意義であったと思います。(締め切り前に定員に達しました！)

スケジュール等

方 法： Zoomを利用したWeb配信

日 時： 令和3年11月19日(金)

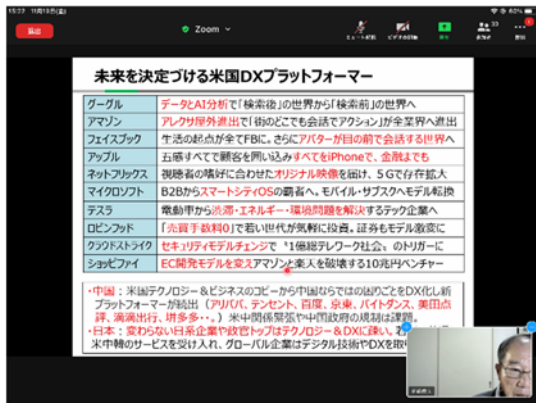
14:30～14:40 支部長挨拶

14:40～16:10 講演

16:10～16:30 質疑応答



「ごあいさつ」
群馬県支部長 山本



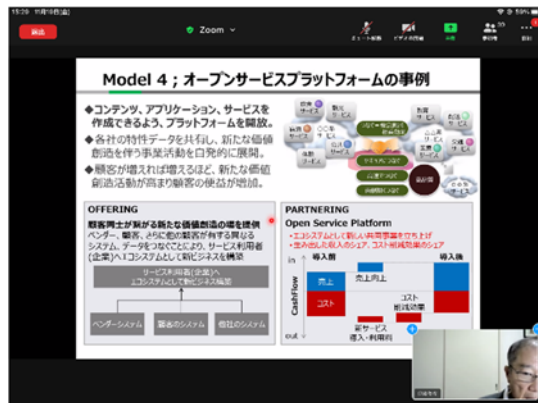
■米国の状況



■中国の状況



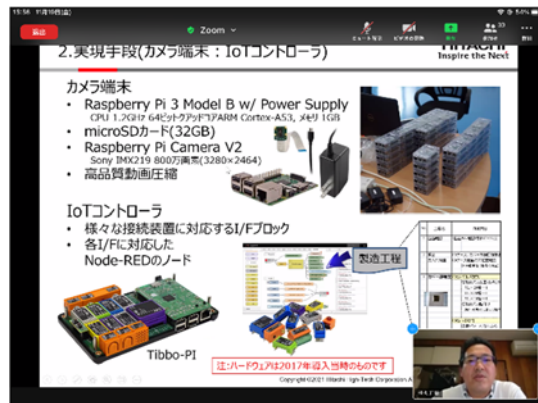
■参考になる実装が進む中国の状況



■聴講者を引きつけるコストの説明



■株式会社日立ハイテク 耳野雅也氏 から取組報告



■具体的でわかりやすい実現手段

「毎日の言葉」(1978,柳田国男集第6巻)によると、「イタダク」は「頂戴する」と言うように頭(頂)の上にモノを載せること。中世には目上に対する礼儀で「イタダク」場合が増したとのこと。私が子どもの頃に普及した「イタダキマス」は、この考え方に基づいているようです。同氏は、同時に他の使われ方があることを認めており、「・・・頭の上にはいたく人はもうなくなった、ひどいのはごろりと寝ころんでイタダいている人もあるという事実を心づいて見なければならぬ」としています。コタツで寝正月・・・耳が痛い話です。(広報委員長 小池)